



ともに学ぶ。考える。 インターネット安全教室

～大人も子どもと一緒に学び、考える。インターネットとのつきあい方～



安全教室指導用教材利用規約

独立行政法人情報処理推進機構
セキュリティセンター

「安全教室指導用教材」は、インターネット安全教室での利用を目的に独立行政法人情報処理推進機構（IPA）（以下「IPA」という。）が作成した教材、およびこれを用いて指導するためのポイントをまとめた講義要領（今後に作成され得る各々の改訂版を含む。）です。なお、改訂版が利用可能となった後は、専ら改訂版をご利用ください。

IPAは、本利用規約に同意いただくことを条件として、「安全教室指導用教材」の利用を無償で許諾します。有償セミナー等での利用を希望する場合は、事前にIPAに申し出て別途許諾を得てください。

1. 「安全教室指導用教材」に関する著作権その他すべての権利は独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が保有しており、国際条約、著作権法その他の法律により保護されています。
2. 「安全教室指導用教材」は、情報セキュリティや情報モラルの教育、普及の目的に限り、無償の授業、各種セミナーや研修等にご利用いただけます。
3. 必要な範囲での複製（生徒等受講者への配布のための複製を含む。）は可能とします。
4. 「安全教室指導用教材」は原文のまま利用してください。ただし、グラフの形式を変える、文体を変える等、単なる表記形式のみの変更は可能とし、また、具体的な利用場面においてやむを得ない場合であって、かつ前記目的のために必要な場合には、その必要な範囲で、利用者の責任において、文意を変えず、かつ原文のままでないことが容易にわかるように明記または明示（例「～を基に作成」等）することを条件として、文面の一部改変等を可能とします。
5. 「安全教室指導用教材」の中のデータやグラフ・図表・イラスト・映像等の全部または一部を引用等した場合、本利用規約に同意したものとみなします。
6. いかなる形で利用する場合においても「安全教室指導用教材」を利用する際は、出典（IPAの名称、資料名（「安全教室指導用教材」）、URL等）を容易に判る態様で明記または明示してください。
7. 「安全教室指導用教材」を利用する部分と利用者が自ら作成する部分が混在した教材等を作成する場合、「安全教室指導用教材」利用部分か、利用者自身による作成部分かが容易かつ明確に判別できるようにしてください。なお、利用者は、自己の作成部分について全ての責任を負うものとします。
8. 「安全教室指導用教材」（本項においては、利用者が自ら作成する部分が混在する場合を含む）の二次利用を希望する者に対して複製物を配布する場合には、相手先に本利用規約を配布するなどにより、相手先が「安全教室指導用教材」（利用者が自ら新たに作成した部分を除く）を利用する際には本利用規約に同意する必要があることを伝えてください。
9. 「安全教室指導用教材」で提供する情報の正確性、信頼性、網羅性及び完全性については、IPAが保証するものではありません。
10. 「安全教室指導用教材」のファイルをダウンロードすることまたは利用したこと等により生じるいかなる損害（他人に対して責任を負う場合を含む。）についてもIPAは何ら責任を負いません。
11. 本利用規約は予告なく改正する場合があります。その場合、改正後の内容は、それがIPAのウェブページ上で公表された時以降の利用に適用するものとします。
12. 「安全教室指導用教材」及び本利用規約に関する質問は、net-anzen@ipa.go.jpまでお寄せください。なお、IPAからの応答等は、その業務に支障のない範囲内とさせていただきます。

身近になったICT機器 【参考コンテンツ①】 子どもへのICT機器の 与え方について





「10の姿」をご存知ですか？

幼児期の終わりまでに育ってほしい
10の姿をご存知ですか？



10の姿



- 健康な心と体
- 自立心
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり
- 思考力の芽生え
- 自然との関わり・生命尊重
- 数量・図形、文字などへの関心・感覚
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現

※これらは到達目標ではなく保育の方向性を捉えるための観点です。

幼稚園教育要領解説より



幼児期は直接的な体験が重要であることを踏まえ、視聴覚教材やコンピュータなど情報機器を活用する際には、幼稚園生活では得難い体験を補完するなど、幼児の体験との関連を考慮すること。



スマホに子守させていませんか

幼児期は、心と体の基礎づくりの大切な時期です。

スマホやタブレットに子守をさせていませんか？



スマホに頼りたい場面もあります



家事がすむまで
みていてくれる
人がいない。

スマホやタブレット
を使わないと
間が持たない。

電車の中でぐずるけど、
おもちゃを
持って出るのは大変！



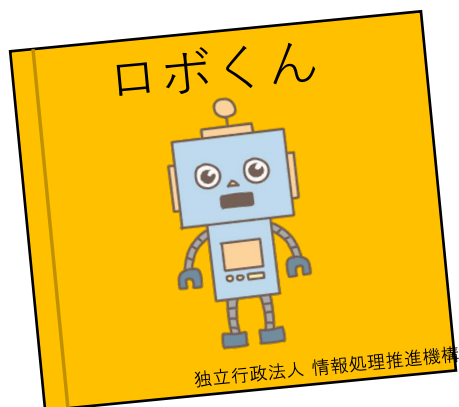
おでかけのときに



あそべるおりがみ



ハンカチあそび



お気に入りの絵本を読むだけでなく

- ・クイズにしてみる
- ・お話の続きを考えてみる

手をつかったあそび



パズル



ぬりえ



つみ木、ブロックなども
創造力・発想力を育みます。

アプリでできる事、できない事

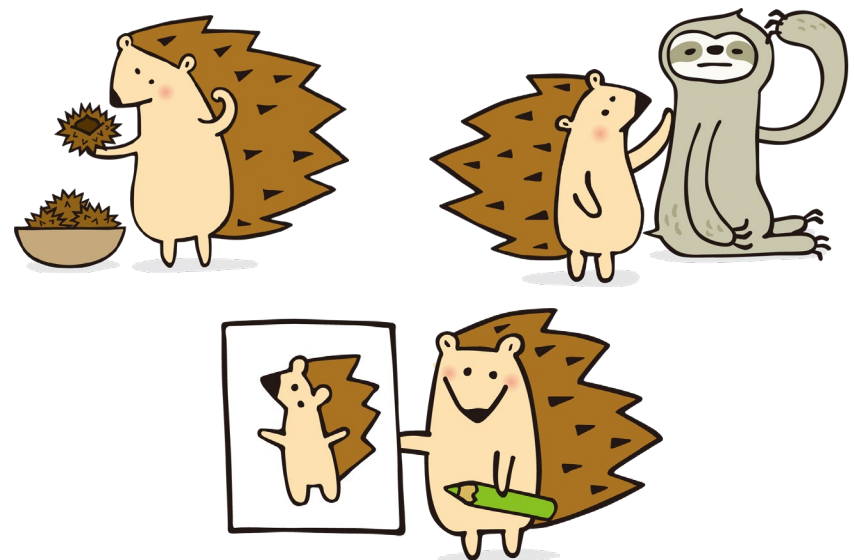


五感の発達に加え、力加減、バランス感覚、眼球運動、距離感の把握などの様々な感覚を育てるため、本物に触れ、実際の体験をなるべくさせるようにしましょう。

アプリで色々できるけど



本物も体験させて



有効的、健康的な活用とは

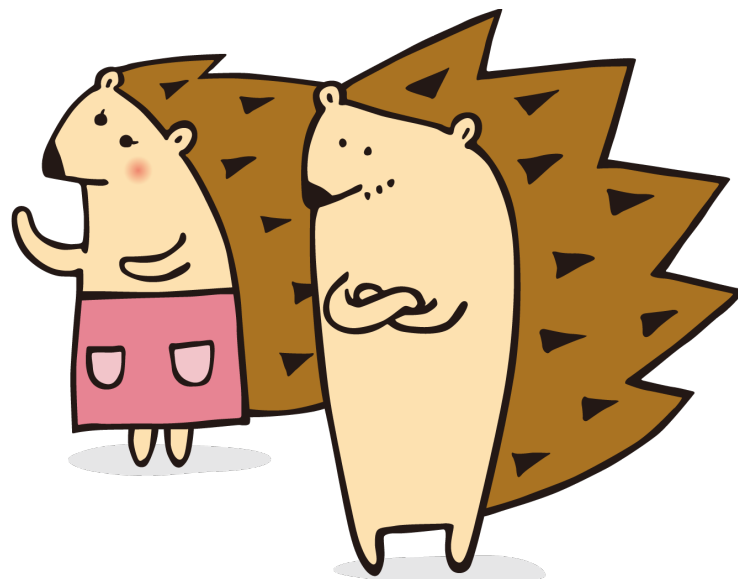


デジタル機器を有効的、健康的に活用することが求められています。

健康な心と身体のために



スマートフォンやゲーム機を使わせる時は、見る動画の本数、使う時間などを伝える。



社会との関わりを深めるために



1人遊びだけでなく、自然や人との
ふれあいのある遊びを！

外あそび



かるたや絵あわせ

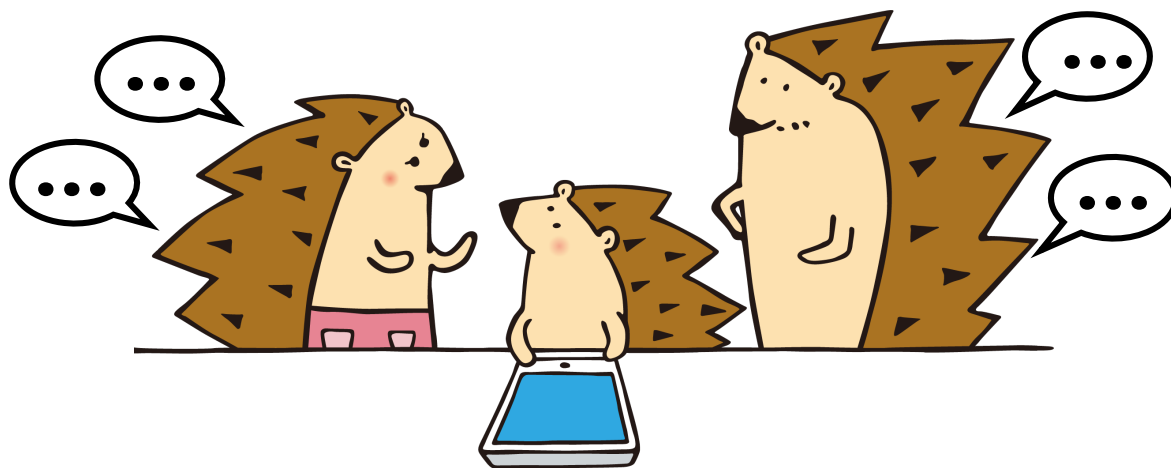


言葉による伝え合い、表現のために



動画を見る時は

- 一緒に見ながら内容について話をする。
- 視聴後に感想を言いあう。



コミュニケーションにつなげる。

3才をすぎたら

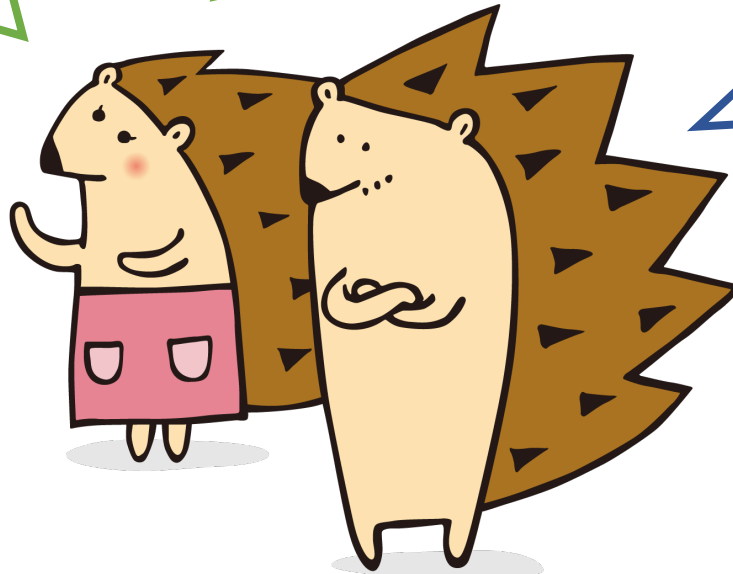


- ・見通しが立てられる約束を決める。

みる動画は
2つまでよ。

長い針が
上にいくまでよ。

お父さんが
帰ってくる
までね。

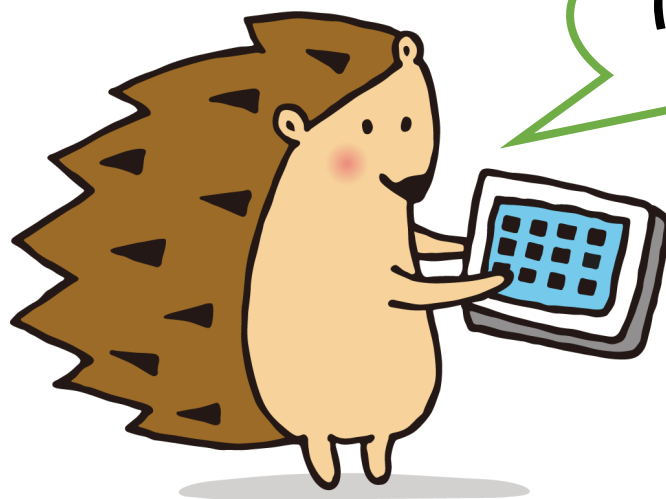


これでは
見通しが
立てられない。

最初はあくまで「貸しあたえる」



- ・スマートフォンやタブレットをおもちゃとして与えないで！



最初は保護者からの「貸与物」として。



知っていますか？

ペアレンタルコントロール

子どもの安全のための
保護者による機能制限のこと。

ペアレンタルコントロールでできること



子どもの安全のために

一日のスマホの利用時間の確認

成人向けサイトへのアクセス

有料アプリの購入やアプリ内での課金

年齢に応じたアプリの使用

コンテンツの制限

機種、アプリ、サービスで違いがあります。

まとめ

- ・スマートフォンやゲーム機にたよりすぎない子育てを。
- ・使いすぎないために、見通しの立てられる約束を決めましょう。



まとめ

ペアレンタルコントロール
を活用しましょう。

